

「産経新聞大阪本社」見学ツアーに参加しよう!

見学レポート

12/26(月)

『産経新聞大阪本社』の見学に行ってきました!

わたしたちに毎日たくさんのニュースを伝えてくれる新聞は
 いったいどのように作られているのだろう?
 今回は1922年に前身となる「南大阪新聞」を発足させ、1958年から「産経新聞」として
 新聞を作り続けている「産経新聞大阪本社」でお話をきかせて頂きました!



《見学の前に・・・》

建物に入る前に、入館証がひとり1枚配られます。
 大切な情報を扱う新聞社では、入館チェックも厳しいようです。
 大事な入館証を失くさないようにしっかりと首にかけて、
 すこし緊張しながら、いざ産経新聞社へ突入です!



《DVDを見てお勉強!》

会議室にて、まずはDVDの視聴です。
 新聞が作られていく工程、新聞社でのお仕事についての内容でした。
 ひとつの新聞を作るために、たくさんの人達の手がかけられているんだね!
 みんな静かに見入っていました。



《写真報道局》

DVDを見た後は、実際に各局の見学です。まずは写真報道局! 世界中から記事になる写真が集まるこの局では、
 事件や事故、災害などがあればすぐにカメラを持って現場に向かいます。1日に送られてくる写真は約6000枚!
 たくさんの写真の中から新聞に使われる写真を決めます。
 ちなみに写真報道局にはカメラとレンズで200万円以上するものもあるとか!?
 荷物の重さは機材を合わせて30kg以上になることも…。カメラマンさんは実は体力勝負なんです!

《編集局》

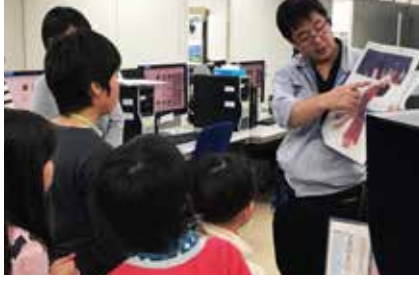
続いては編集局です。ここでは紙面作りが行われます。記者が書いた原稿の手直しや、紙面のレイアウトを考えたり、文章に
 間違いがないかチェックをしたり、たくさんの人が協力して1枚の紙面が出来上がります。記事が完成したと思つたところに、
 大きな事件や事故が起これば、最初から作り直しになることもあります。何度もチェックと修正が繰り返されて、わたしたちの
 元に最新の情報が届きます!

《産経新聞印刷》

フロアを移動し、産経新聞印刷の画像部門では実際に画像の編集作業を見せていただきました!
 入館前にプロのカメラマンさんに撮ってもらったみんなの集合写真を使って、色を変えたり合成したり、動物の写真とくっつけて
 もらったり♪次々と変わっていく写真にみんな釘付けです!「すごい…」と感動の声が上がっていました!



見学スナップ



質問タイムでは「お給料はいくらですか?」
 なんて率直な質問も…!!



ベテランの記者さんからお話を
 聞くことのできた貴重な時間。



【新聞の解体】という新聞の楽しみ方も
 教えていただきました♪



パンフレットや当日の新聞、取材でも使う
 メモ帳「取材手帳」をお土産にもらいました☆



さらに! 集合写真の入った参加者限定新聞も
 作ってもらいました! もちろん記事の内容も
 特別仕様です♪



自分たちが載っているできたとホヤホヤの
 新聞を手にして、みんな真剣に読んでいました!



見学ツアー前に、参加者限定の新聞に使われる集合写真を撮影!

参加したキッズクラブメンバーの皆さん、おつかれさまでした!